



INFORMATION MAGAZINE THE JOURNAL

# ザ+ジャーナル!!

Vol.7  
No.2

National Hospital Organization Okayama Medical Center

やさしさ便り～岡山医療センターの今

## CONTENTS

- 2 特集 小児科のご紹介
- 4 センター NEWS
- 5 乳がん市民公開講座(7/14)報告/DMAT
- 6 初期研修医/病院機能評価
- 7 ところが喜ぶログ/地域医療連携室
- 8 健康レシピ
- 9 リソースナース室通信/医療安全レポート
- 10 看護助産学校通信
- 11 臨床研究推進室便り
- 12 TOPICS!/編集後記

地域災害拠点病院  
地域医療支援病院  
地域がん診療連携拠点病院  
総合周産期母子医療センター

### 岡山医療センターの理念

人にやさしい病院

-Human Friendly Hospital-

- 1 患者さまにやさしい病院を目指します
- 2 病院で働く人にやさしい病院を目指します
- 3 地域の人にやさしい病院を目指します

### 看護職員募集中

常勤・非常勤看護師 随時受付中  
院内保育所完備・スキルアップラボ有り  
詳しいお問い合わせはこちら▶▶▶

CONTENTS

11



携帯サイトを  
開設しました!

表紙写真：2012.8.3 夏祭り  
撮 影：近藤 博行

# 小児科のご紹介

## —こどもの権利憲章制定—

小児科 診療部長 久保 俊英

### はじめに

当院は国の政策医療としての成育医療の基幹病院であり、一般小児病棟は50床を有し、新生児病棟の50床と併せて100床の小児病床を擁しております。当院全体で609床であることを考えますと、当院が如何に小児医療に力を傾注しているかがお分かりいただけると思います。また、子ども病院に準ずる扱いで、岡山県内では唯一日本小児総合医療施設協議会への加盟を許されています(中国地方では他に県立広島病院)。

小児科では、基本的には生後1か月以降の患者様を診させていただきますが、循環器疾患、代謝疾患、内分泌疾患などでは生後早期より新生児科と共同で診療に当たりますし、小児外科疾患においても、内科的問題を抱えていることも多く、小児外科と共同診療を行っております。また、糖尿病、腎臓病、内分泌疾患など慢性疾患では、患者様のニーズにも合わせて、成人後も診療にあたる場合もあります。

### 専門医療と救急医療

当小児科では、高度専門医療と救急医療を2本柱として、あらゆる小児内科疾患に対応すべく体制を整えています。専門医療としては、科長であります久保は、成長障害(低身長、体重増加不良など)、内分泌疾患(甲状腺疾患、性腺疾患など)、肥満を中心に診療しています。特に、成長障害でフォロー中の患者様数は県下第1であり、また、当院は県内唯一小児肥満症専門病院に認定されています(中国地方では他に鳥取大学病院)。医長の白神は、神経疾患、心身症を中心に診療しております。てんかんはもちろんのこと、救急病院でありますので、脳炎・脳症を含めた中枢神経系感染症についても豊富な経験を持ち合わせております。同じく医長の金谷は、アレルギー性疾患を中心に診療しています。近年は特に食物アレルギーの負荷試験、アレルギー歴のある児への予防接種に力を注いでいます。また、院内感染対策室長として、毎日院内をラウンドしています。古城医師は、先天性代謝異常症、内分泌疾患(副腎疾患、糖尿病など)を中心に診療しております。近年、代謝異常症には酵素補充療法が主流となっておりますが、中四国での第1症例を当科で始めたこともあり、他県からの通院の方もあって酵素補充療法センターの様相を呈してきております。清水医師は、腎臓を専門に扱っています。腎生検、腹膜透析を含めあらゆる腎疾患に対応し、小児外科と連携して腎移植にも関わっています。また、救急医療にも力を注ぎ、毎週若手医師を集めて救急トレーニングを行っています。木村医師は、循環

当院の小児医療は、小児科・新生児科・小児外科が共同して診療にあたっています。

生後1か月以降の内科疾患を小児科、生後4週間未満の赤ちゃんを新生児科、外科疾患を小児外科が主に診ています。このうち今回は小児科についてご紹介いたします。



器疾患、川崎病を専門に扱っています。先天性心疾患については、岡山大学小児循環器科、心臓血管外科と緊密な連携を取って診療にあたっています。

救急におきましては、24時間一次から三次に対応できる体制にしており、小児外科疾患にも小児外科医が常時on call体制で対応致します。しかし、軽微な症状での時間外受診の急増に医師たちが大変疲弊しており、ご開業の先生方の時間外診療応援を仰ぎ、軽症での時間外受診では時間外選定療養費5,250円の現金徴収をさせて頂いております。また、中四国地方全体の小児救急医療レベルを上げることを目的として、毎年岡山小児救急医療研修会を開催しております。主として、中四国の国立病院機構病院の医療従事者が対象ですが、県内の他主要医療機関のスタッフ、救命救急士、養護教諭の方々にも参加して頂いております。更に、保健所とタイアップして出前講座として「上手な救急のかかり方」と題して、保護者の方々への啓発活動も行っています。

### 子どもにやさしい病院を目指して

また、「子どもにやさしい。」をコンセプトとして、病棟におきましては感染病棟と非感染病棟を厳密に区分し、感染病棟ではすべてを陰圧室にするなど、院内感染を避けるよう最大限の努力を払っています。さらに、1990年にユニセフでは「子どもの権利条約」を発効しましたが、私たちが「子ども中心の医療」の理念のもとに、常に成長・発達に配慮して、よりきめ細やかな医療を提供していくために、2012年2月に中四国の総合病院では初めて「こどもの権利憲章」を制定しました。基本は、

- ① 人格を尊重される権利。
- ② 適切な医療を受ける権利。
- ③ 医療に関して知る権利。
- ④ プライバシーを守られる権利。

の4つからなっています。



# こどもの権利憲章

## 1. 人格を尊重される権利

- ・子どもたちは、いかなる場合でも一人の人間としてその尊厳と権利を守られています。
- ・子どもたちは、礼儀と敬意を払って医療行為を受けられます。

## 2. 適切な医療を受ける権利

- ・子どもたちは、笑顔で迎えられ、愛情に満ちた医療行為を受けられます。
- ・子どもたちは、当院の提供する最良の医療を受けることができます。
- ・子どもたちは、可能な限り隔離や抑制のない状態で快適に医療行為を受けられます。
- ・子どもたちは、可能な限り入院前と同じように過ごせます。
- ・子どもたちは、いかなる場合でも、皆同等の医療行為を受けることができます。
- ・子どもたちは、自分に痛みを与える行為については泣き、騒ぎ、抗議することができます。
- ・子どもたちまたは家族は、医療行為について十分な説明を受けた上で、選択・決断することができます。

## 3. 医療に関して知る権利

- ・子どもたちは、自分に分かる言葉で自分に何が起きているかを教えられ、質問に正直に答えてもらうことができます。
- ・子どもたちまたは家族は、医療行為に関するすべての情報を得ることができます。
- ・子どもたちは、治療開始前に承諾に必要な情報を得ることができます。
- ・子どもたちは、自分の診療記録に含まれる情報を閲覧することができます。

## 4. プライバシーを守られる権利

- ・子どもたちの病気のことは、子どもたちの家族、子どもたちが許可した人、医療行為を施す人にしか知らされません。

平成24年2月14日 国立病院機構岡山医療センター小児科・新生児科・小児外科

## 教育と研究

ご存知の方も多いとは思いますが、当科では医学部学生実習はもとより、良質な小児科医育成のために多くの研修医を受け入れてその教育にも力を入れております。また、成育医療推進研究室に属して、全国的な臨床研究も展開しています。

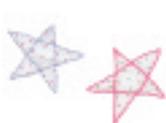
## おわりに

このように、当科では診療面の充実はもとより、若手医師・学生の教育機関として、そして臨床研究機関としてもその責務を果たすべく刻苦精励しております。

今後とも皆様のご期待に添えるべく、「子どもにやさしい病院」を目指して一同努力する所存ですので、応援をよろしく願います。

## ★小児科スタッフ★

久保 俊英	診療部長、主任医長	専門：成長障害、内分泌疾患、肥満
白神 浩史	医長	専門：神経疾患、心身症
金谷 誠久	医長	専門：アレルギー性疾患
古城真秀子	医師	専門：先天性代謝異常症、内分泌疾患
清水 順也	医師	専門：腎臓
木村 健秀	医師	専門：循環器疾患、川崎病
片山 寿夫	レジデント	
中村 さやか	専修医	
中村 直子	専修医	
若槻 雅敏	専修医	
高橋 亨平	専修医	





### ★笑顔の素敵な女の子の治療に携わって

■小児外科医師 高橋 雄介

今年もまた、国際医療ボランティア団体ジャパンハートからの依頼を受け、ミャンマーに住む女の子が治療を受けに当院にやってきた。総排泄腔外反症（そうはいせつくうがいはんしょう）という特殊な病気で、ミャンマーで幼い頃手術を受けているのだが、ひどい尿失禁で困っていた。

彼女は名誉院長の青山の手によって、膀胱に腸を貼り付けて容量を大きくし、尿道を閉鎖し臍から導尿できるように手術された。また、病気の性質上骨盤が開いていたので、整形外科医の手によって骨盤を寄せる手術を受けた。

彼女は20時間の手術に耐え、長期間ベッドで寝たきりの生活であったが、どれだけ辛いときでも「ありがとう」の日本語ととびきりの笑顔を我々医療者にむけてくれた。彼女は日本で言えば小学校1年生になる年であったが、大変聡明であり、入院中の短期間にたくさんの日本語と、日本の歌（カエルの歌、ももたろう、モーニング娘。など・・・）を覚えていた。

彼女は元気にミャンマーへ帰っていった。これから先も、彼女は臍から導尿が必要であり、また人工肛門もあるため、決して楽な生活とは言えないが、それでも失禁で困る生活から開放され、QOL（生活の質）はずいぶん向上した事と思う。

今回も多くの報道関係者が彼女を取材し多くのメディアで報道された。しかし、決して我々がすごいことをした訳ではないと思う。我々は日本の子供たちを治療するのと同じように、難病に苦しむ一人の女の子に手術を施し、看護しただけである。本当にすごい事はその背後にあり、この女の子が日本に来るためにジャパンハートが骨を折り、その渡航費用の捻出のため日本の医学生がface bookを通して寄付を募り、何よりこの女の子の治療費の大部分は病院の持ち出しであり、つまり日本国民がこの女の子の治療のために骨を折っていた、という事実であると思う。

これから先も、また同じように難病で苦しむ子供たちがやってくる事と思う。どんなときでも、自分たちのできる最良の医療を施してあげられればと思う。



ニーニーちゃんの退院を見送る高橋医師(左)と青山名誉院長(右)



笑顔で花束を受け取ったニーニーちゃん





## ★がん拠点病院 岡山医療センターによる 第7回 がん市民公開講座 “乳がんから命を守る知恵”

■乳腺甲状腺外科医長 白井 由行

がん拠点病院である当院のがん市民公開講座が、平成24年7月14日(土)に国際交流センターで開催された。

がん拠点病院は、がん対策基本法(平成18年)及び同法の規定に基づく「がん対策推進基本計画」(平成19年6月15日閣議決定)により、全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるようにと制定された。当院では平成20年より、わが国に多い五大がん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん及び乳がん)を中心に講演会を行ってきた。第7回目今回は初めて乳がんについての公開講座となった。

まず、当院の乳癌学会認定乳腺専門医の秋山一郎医師から、『乳がんの最新医療と予防法』という演題で講演があった。乳がんから命を守るには、マンモグラフィ検査を毎年受けて小さいうちに発見することが重要であるということであった。

次に、当院形成外科 高田温行医師から『形成外科とは～乳がん治療との関わり』という演題での講演があった。形成外科が美を追求する外科分野であることを実際の写

真を見せて説明した。また、乳がんで乳房を失った患者に再び乳房を作るという、神業とも思えるテクニックを披露した。

最後にはQ&Aコーナーもあり、聴講者45名からの質問用紙を回収して、個々の質問にもお答えした。

当院での乳がんに対する治療の概略および予防法が述べられた講演会であった。乳がんで命を落とさないためにはマンモグラフィ検診が重要であり、検診率をもっと上げなければならないとのtake home messageで締めくくられた。



乳がんの早期発見・早期受診のシンボル  
ピンクリボンの色にライトアップされた東京タワー

## ★DMATをご存知ですか？

■外科医師 秋山 一郎

あの平成7年1月17日、ヘリによる空中消火が行われなかったのは患者搬送に出掛いていたからではありません。17日にヘリで搬送された被災者は僅かに1人、翌18日は6人でした。道路が寸断されライフラインが途絶えた病院に被災者を運んでも手に負えないため、安全な外の病院へ空路で搬送するのは今でこそ常識ですが、当時はほとんど機能しませんでした。

6400人の死者のうち初期医療が十分行われていれば500人は救えたはずとの反省から国によって組織されたのがDMAT(災害派遣医療チーム: Disaster Medical Assistance Team)です。生存率が高いと



米子基地での訓練に参加

される災害発生後48時間以内の初期医療を行うため、自給自足の装備で被災地に乗り込みます。医師、看護師、業務調整員からなる1チーム



5人で4日間の講習を受けた後に試験を受け、このたび加藤源太郎(心臓血管外科医師)、加賀宇芳枝(5A病棟看護師)、片山祥恵(7A病棟看護師)、村上孝次(企画課《業務調整員》)と私が合格し、既に隊員の青井瑞穂(脳外科医師)と合わせて6人になりました。今では全国に1000チーム、6300人の組織に育ち、自衛隊や警察、消防と一体になって活動します。

DMATを配備した災害拠点病院は岡山県内に8か所ありますが、全病院に占める割合は4%に過ぎません。地の利に恵まれた当院への期待は大きく、14年ぶりに当院が指定を受けました。今後も院内のDMAT編成委員の充実が必要です。職種は問いませんので心ある方の参加をお待ちしています。

## ★初期研修医通信

■医師育成キャリア支援室 腎臓内科医長 太田 康介

当院の初期研修医（29名）は、病院の診療に真剣に従事するとともに、自分たちの能力を向上すべく研鑽しています。その一環として、この2月に開催された「研修医OSCE～Okayama Cup～」に当院から3名参加しました。この大会はNPO法人岡山医師研修支援機構と岡山大学病院が開催したもので、初期研修医の医療技術を競い意欲の向上を目的とした大会で県内23名の研修医が参加しました。

競技は7つのブースにわかれ、3つは問診・救急初期



表彰状授与

対応の能力を、4つは画像診断や穿刺などの技術を競いました。当院の研修医はそれぞれ日頃の力を発揮しましたが、大丸千穂先生が検査手技（腰椎穿刺）部門で最優秀表彰を受けられました。皆様におかれましては今後とも当院の初期研修医に応援いただきたく存じます。



真剣な表情の研修医

## ★岡山医療センター初期研修医同窓会を終えて

■第一回岡山医療センター初期研修医同窓会 代表世話人 片山 晶博（H16年度初期研修医）

去る4月28日、ホテルグランヴィア岡山において岡山医療センター初期研修医同窓会を開催しました。平成16年度より開始された初期臨床研修制度も本年度で9年目に入り、岡山医療センターを巣立った初期研修医は現在120名を数えています。その内の85名と指導医の先生方30名、計115名に参加いただき非常に盛大な会となりました。ともに研修を行った懐かしい研修医OBやお世話になった指導医の先生方と久々にお会いし、研修医時代に戻ったような懐かしく、楽しい時間を過ごすことができました。



開催にあたり御協力いただいた多数の先生方に深く感謝申し上げます。

## 病院機能評価Ver.6.0に認定されました

このたび、当院は病院機能評価Ver.6.0の認定（更新）を受けました。今年2月27日～29日、「医療を見つめる第三者の目」日本医療機能評価機構による様々な評価項目についての受審結果で、認定期間は平成29年5月19日までの5年間です。

受審に向けて職員一丸となって準備した結果であり、また今後も認定病院の名に恥じぬよう「人にやさしい病院」を目指して努力を重ねてまいります。



## インタビュー～人の話を聞くととは…

Column

### こころが 喜ぶログ

フリーアナウンサー  
遠藤寛子

「話すことと人の話を聞くこと、どちらが難しいと思いますか?」話し方の教室などでよくこのように聞かれます。みなさんはどう感じているでしょうか。人に話を聞くのはとても難しいということ、私自身は日ごろの「インタビュー」という仕事の中で実感しています。先日ラジオ番組の電話インタビューで、相手と同じくらい自分がしゃべりすぎてしまう、という失敗をしてしまいました。インタビュー～人に話を聞くことは「相手にいかに話してもらうか」が大切になってきますが、実は様々な理由から、私たちは人の話を「きちんと聞いていない」ことが多いのです。

一つは「思い込み」。私たちの思考は自分が育ってきた環境や経験に大きく影響されます。相手はきっとこう考えているだろうという思い込みで、人の話を「聞いているつもり」になっていることも多いのではないのでしょうか。

次に「時間」。限られた時間の中で答えを求めたい。相手が話をするのを待てずにこちらがすべてを話し、それに対してNOと言わなければ、それがあたかも相手の意見であるかのように思ってしまう。時間という制約がある中では、相手の本当の言葉を引き出せてい

ないかもしれないのです。できるだけ自分の言葉数を減らし、相手の言葉を待つ、というのでも「聞く」ことの大切なポイントだと思います。

そして「無関心」。相手自身や話のテーマについて、興味や関心を持つことができない時に、よく次の言葉が見つからない、話が弾まないという状況になります。そもそも興味関心を示さない人に対して、相手は話をしたいと思うのでしょうか。知らないことは教えてもらう、なぜそう考えるのかを知りたいと思う…ベクトルが相手に向かうと相手はそれを感じ、嬉しく思うものだと思います。相手に興味を持つことも大切だと言えるのではないのでしょうか。

話を聞くという行為は、質問をする「きく」と相手の話を受け止め理解する「きく」があると思います。この2つの「きく」を使って、人の話を上手に聞くことが出来る人は周りに心地よさを与えられる人だと言えるのではないのでしょうか。インタビューという特別なことのように感じられるかもしれませんが、私たちは日ごろ家庭や職場などで人の話を聞く機会が多いですね。家族や友人、職場の同僚、上司の話をきちんと聞いているか、もう一度振り返ってみませんか。



**PROFILE** 平成5年、山陽放送株式会社入社。在局中は夕方ローカルワイドニュース「山陽TVイブニングニュース」や県政・市政などのテレビ番組、スポーツ番組のリポートなどを担当。また、ラジオではお昼のワイド番組をはじめ、数多くの番組を手がける。平成12年に同社を退社後、フリーとして活動中。現在は、山陽放送テレビ・ラジオで朝の定時ニュース担当。またイベントや式典、ウエディングなど、様々なシーンでの司会進行でも活動をする他、マナー研修の講師も務める。

## ～地域医療連携室～ 連携診療施設紹介

### 森脇内科医院

院長 森脇 和久

内科(森脇 和久)、小児科(小橋 ひろみ)二人の医師で診療しています。

地域の皆様の御健康を守るべく、お子様からご老人までお気軽に受診できるクリニックを目指します。岡山医療センターの先生とは、今後もより一層親密な医療連携を深めていきますので、よろしくお願い申し上げます。



住所: 岡山市北区津高712-1  
電話: 086-253-1567  
診療科目: 内科、小児科  
休診日: 日曜、祝日

	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
15:00～18:30	○	○	○	○	○	—





# 夏の日差しを浴びたお肌には 食べる美容液 アボカド



アボカドは栄養価が高く、脂肪分の多さより「森のバター」と呼ばれています。しかし、その脂肪分はコレステロールを下げる不飽和脂肪酸のオレイン酸やリノール酸、リノレン酸をはじめ、老化防止効果のあるビタミンEやビタミンA、Cを多く含んでいます。

## アボカドとグレープフルーツのサラダ

### 【材料】(3~4人分)

- アボカド 1個
- トマト 1個
- グレープフルーツ 1個
- 塩 少々
- オリーブオイル 大さじ2

1人前  
エネルギー:47Kcal  
たんぱく質:1g  
脂質:9.7g  
塩分:5.2g



### 【作り方】



①アボカドは種に沿って包丁を入れ縦半分にして種を取り、更に半分にして皮を取り、サイコロ程度に切っておきます。



②トマトも同じくらいの大きさに、グレープフルーツは横半分に切って実をスプーン等で出します。

③全ての材料をボウルに入れ、塩少々とオリーブオイル大さじ2杯で和えたら出来上がり。

## 豆腐とひじきのハンバーグ

## きのこの和風ソース

## 秋 メニュー



### 【材料】(4人分) 豆腐ハンバーグ

- 木綿豆腐 200g
- 鶏ミンチ肉 200g
- ひじき 200g
- 塩・こしょう 少々

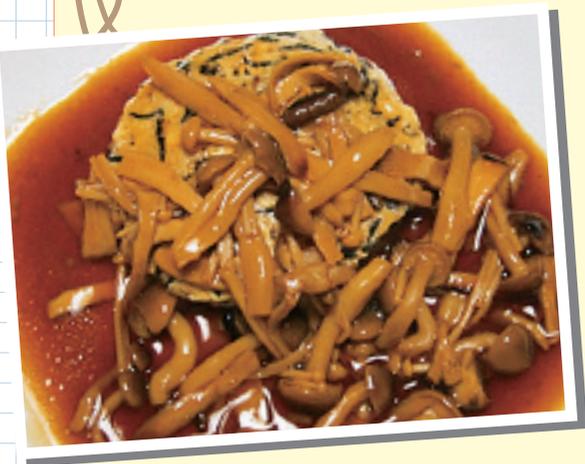
### きのこソース

- しめじ 1株
- えのき 1袋
- エリンギ 1パック
- いろいろなきのこを沢山

- 醤油 大さじ1
- みりん 大さじ1
- 砂糖 小さじ1
- 片栗粉 適量

### 【作り方】

- ①豆腐ハンバーグの材料を混ぜ合わせる。
- ②①の材料を4等分にして、油を熱したフライパンで焼く。
- ③きのこソースを作る。  
水200mlを熱した鍋にきのこを入れ、火が通ったら調味料を加えて、片栗粉でとろみをつける。
- ④お皿に焼き上がったハンバーグを盛りつけ、きのこのソースをかければ出来上がり。



# リソース ナース室 通信

Vol.12

## このたび、新たに2名の認定看護師が誕生しました!

★小児救急看護認定看護師 貞平 智美

小児の救命救急場面での看護実践をはじめ、育児支援や子ども虐待への対応を行い、看護全体の質の向上を目指してスタッフへの支援を行っていきたくと考えています。当院に来院される子どもとご家族のために頑張っていこうと思っています。



★新生児集中ケア認定看護師 石野 陽子

ハイリスク新生児の治療・療養経過に生じる身体的および社会的有害事象に対して、予防的観点から働きかけ、発達促進的・個別的なケアを実践していきます。未来ある子どものため、後障害のない成長発達だけではなく生活の質の安定を図れる看護を目指し、スタッフへの支援を行っていきたくと思います。



皆さん。  
こんなことをやってほしい!  
というリクエストを  
お待ちしております!



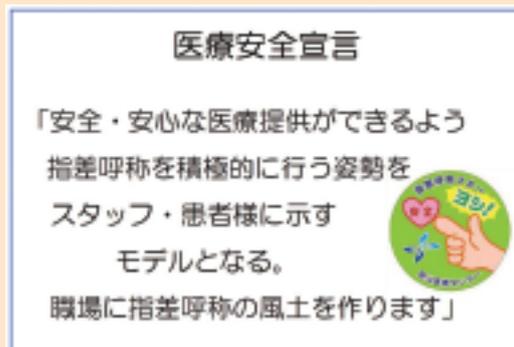
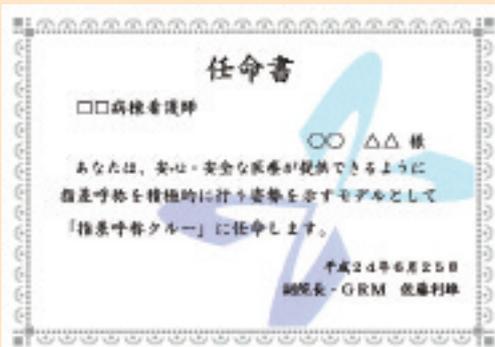
入院する子どもやその家族のために、決意新たに歩み始めた2人です。緊張の中、しばらくは右往左往する姿を見かけるとは思いますが温かい応援を頂きつつ、看護の質向上のために彼女たちを活用していただければと思います。

## 医療安全 レポート

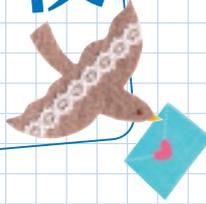
—セーフティマネージャー会議より—

### 指差呼称クルー任命!!

今年度、『指差呼称クルー』を発足しました。看護部メンバーが、「医療安全宣言」とクルーワッペンを作り、GRMより、医療安全管理室員・セーフティマネージャー・看護部医療安全推進者・各部門のモデルスタッフに対し、任命書が手渡されました。クルーをみたら、「あなたも、私も、指差呼称」と声掛け合い、実践して下さると嬉しいです。指差呼称することで、誤作業の6割が減少すると言われていました。少しでも「ヒヤリ」「ハッ」とするような事が減少するといいですね。患者様の安全は良質なチームから!これからもクルーの皆で推進していきます。



# 看護助産学校 通信 Vol.10



## オープンスクール 大盛況!

看護学科 教員 川上 佐代

例年よりも遅めの梅雨が明けた7月21日土曜日に本校のオープンスクール第2回が催されました。今回は231名という大変大勢の方にご参加いただきました。遠くは鹿児島県から岡山県内各所と様々なところからお越しいただき、盛況のうちに終えることができました。

まずは参加者全員がそろわれたところで、東学校長、西田副学校長からのご挨拶、引き続いて、本校の沿革について説明を行いました。その後学校・寮案内、病院案内、技術体験、進路相談等に分かれて、ご希望される内容に参加していただきました。いつも好評いただいている病院案内では、今回のオープンスクールから本校の母体病院である岡山医療センター西棟に新設された「スキルアップラボ」や「ホスピタルスタジオ」も見学コースに組み入れ、ご案内しました。参加者の皆様には「この学校で学んでみたい」「学生さんが明るく優しく良かった」「施設が充実している」等といった感想も多くいただくことができました。昼食もパン数種類を準備し、軽食をいただきながらの在校生との座談会では、主に3年生が各テーブルにて参加者の方と談笑しながら、学生生活の細やかな所まで質問に答えたりと、有意義な時間を過ごしていただくことができました。助産学科への進学やその後の学業について等の質問も多くいただきました。本校はオープンスクールを今年度残り2回計画しております。まだお越しいただいたことのない方も、是非一度学校へいらしてください。教員、学生一同皆様のお越しを心よりお待ちしております。

また最後になりましたが、夏季休業期間中も3年生は就職試験、国家試験対策補習等忙しい日々を過ごしております。先日まで母体病院の看護部長、副看護部長、看護師長・副看護師長やスタッフの皆様、そして今年度はコメディカルスタッフの方にも来ていただいていた「ミニレクチャー」がありました。臨床の知をご教授していただき、今年も学生に大変好



学校長あいさつ

評のうちに終えることができました。この場を借りましてお礼申し上げます。このことが学生の学習への動機付けにつながり、看護師国家試験100%合格できますよう、今後とも皆様のご協力をいただきながら学生支援を行ってまいりたいと思います。



看護技術体験～沐浴～



看護技術体験～バイタルサイン測定～

# 看護師募集

当院では今、常勤または非常勤の看護師を募集しています。  
経験の有無にかかわらず、当院での勤務をお考えの方は下記あて  
にご連絡ください。

- 定員80名の保育所では、日曜・夜間保育だけでなく  
病児保育も実施
- 24時間いつでも利用できるスキルアップラボ、模擬  
ホスピタルなど充実の設備
- 専門職としてのキャリアアップを支援（専門看護師・  
認定看護師）

昼間だけなら働ける、看護師の仕事から少し遠ざかっていた…  
まずは担当までお電話ください。ご相談に応じます。



お問い合わせ

人事担当 秋田

TEL 086-294-9911 (内線8183)

〒701-1192 岡山市北区田益1711-1

国立病院機構岡山医療センター

## 岡山医療センター今昔

当院の始まりは昭和20年12月、旧陸軍病院を  
引き継ぎ、国立岡山病院としてのスタートからでし  
た。往時の写真をよすがに、温故知新の精神で当  
院が取り組んできた医療について振り返り、諸先輩  
方が歩んできた足跡をたどります。

昭和20~30年



昭和23年に設置された  
附属模範高等看護学院  
は、戦後の看護教育に  
おけるリーダー育成を  
目的とし、同年10月第  
1期生の戴帽式が聖路  
加、日赤に続いて全国  
で3番目に行われた。



昭和26年頃  
新築された  
病院外来玄関



小児病棟プレ  
イルーム  
(昭和26年頃)

## 臨床研究 推進室便り

最近、治験に協力して頂いている患者様から『テレビで治  
験に関する番組を見たよ』などの声をよく聞きます。以  
前よりも「治験」という言葉が身近になっているようで、私  
たち治験コーディネーターも嬉しく思っています。

暑い日が続きます。我々、臨床研究推進室スタッフ、この暑さにも負けず、より良い治験を提供するため日々奔走して  
います。

今回は、現在実施している治験のご案内です。多くの患者様が治験に参加して頂いています。ぜひ自分も治験に参加  
してみたいという方がいらっしゃいましたら、担当の医師もしくは、下記連絡先にご連絡下さい。

- 糖尿病内科領域：糖尿病で神経障害のある方、糖尿病で腎臓の動きが低下している方
- 循環器領域：肺高血圧症の方
- 神経内科領域：パーキンソン病の方、脳梗塞を発症した方
- 血液内科領域：多発性骨髄腫を発症した方
- 呼吸器科領域：医療用麻薬(痛み止め)内服に伴う便秘のある方

ただし、どの治験にも『参加できる条件』がございますので、参加をお断  
りする場合もあります。ご了承ください。

では、熱中症などにお気をつけ頂き、この夏を乗り越えられますようス  
タッフ一同心からお祈りしています。



臨床研究推進室(治験管理室)

TEL:086-294-9519(平日のみ)

その他、当院実施中の治験参加に関する  
問い合わせも受付しています



地域医療  
研修室

医療者のための  
セミナー・講演会 (9・10月)

会場: 当院西棟8階大研修室  
時間: 19:30~20:30  
(地域医療研修セミナー)  
18:30~19:30 (薬剤師研修会)

日程	種別	演者
平成24年9月18日(火)	第3回地域医療研修セミナー	認知症診療の実際 神経内科医長 真邊 泰宏
平成24年10月9日(火)	第39回薬剤師研修会	腎機能低下患者において注意すべき薬剤 腎臓内科医長 太田 康介



独立行政法人国立病院機構  
岡山医療センター附属 岡山看護助産学校

★第13回学生祭  
「手と手をつなげよう ~Peace☆Piece~」

- 会場: 独立行政法人国立病院機構  
岡山医療センター附属 岡山看護助産学校
- 日時: 平成24年9月29日(土) 10:00~16:00
- 催し物: 募金、野菜・花販売、模擬店、駄菓子、物品バザー、お茶会、わんぱくランド、健康ランド 等

多数の方のご参加お待ちしております!

★OPEN SCHOOL 2012

お申し込み・お問い合わせ方法

電話・FAX・メールでお申し込み下さい

電話: 086-294-9292

FAX: 086-294-9552

E-mail: n-school@okayama3.hosp.go.jp

	実施日	お申し込み受付期間
3回目	9月15日(土)	9月13日(木)
4回目	11月10日(土)	11月8日(木)

電話・メールでのお申し込みの場合は下記の内容をご連絡下さい

- ①参加者氏名・年齢・性別・連絡先
- ②参加希望日
- ③公開講座の参加希望の有無

※電話の場合は8:30~17:15までの時間帯でご連絡下さい。

お申し込み受付時間を過ぎても随時受付可能です。

当日参加も受け付けております。



お待ちしております



会場: 独立行政法人国立病院機構  
岡山医療センター附属 岡山看護助産学校

オープンスクールの内容

- |                 |                               |
|-----------------|-------------------------------|
| ①学校紹介           | ⑤在校生との交流会                     |
| ②公開講座           | ⑥学校見学・学生寮見学・病院見学              |
| ③看護(助産)技術体験コーナー | ⑦展示コーナー<br>(ユニホーム、教材模型、テキスト等) |
| ④個別進路相談         |                               |

※軽食も準備して、皆様のお越しをお待ちしています。

当院においては、良質・適切な医療及び看護を提供することを目的として、日々業務に励んでいるところですが、このたびは看護師の不足のため、病棟を下記のとおり休棟させていただくことといたしました。

大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

・西5病棟 平成24年8月24日(金) ・西4病棟 平成24年9月28日(金)

編集後記

今年も暑い夏だった。病院のため、患者さまのために、がむしゃらに働いてきた医療スタッフの皆様、お疲れさまです。今年は夏祭りも復活した。疲れた時は少しリラックスして、少し豪華に食事を。病院では従業員がバテてしまっは、患者さまの治療もおぼつかない。しだいに秋が近づいてきている。いつの間にかセミの声から秋の虫の声に。市場ではもう輸入松茸が出てきている(私はもう食べました)。おいしいものを食べて、元気を出そう。(臼井)